



発行所 愛媛県喜多郡 長浜町役場 印刷所 岸本印刷所

Table with 2 columns: Category (男, 女, 合計, etc.) and Value (7.9, 8.6, etc.)

Table with 2 columns: Date (1日, 5日, etc.) and Event (児童扶養手当指導監査, etc.)

議会短信 3月分

Table with 2 columns: Date (6日, 16日, etc.) and Meeting Name (各常任委員長会を開催して, etc.)

【尿処理】 百一十万円... 【産業振興補助】 七百万円... 【道路・橋梁・河川・下水路維持】 百七十万円

40年度予算成立

町政展望

総額二億二千二百万円

重点は投資的な経費に

昭和四十年長浜町議会は、三月十六日から三月十九日まで四日間わたって開かれました。

よく読まれている行政記事

広報効果を測定 本紙百号記念

昭和四十年長浜町議会は、三月十六日から三月十九日まで四日間わたって開かれました。

当町には、広報活動の手段として、「広報紙」「広報ながはま」と「有線放送電話」とがあります。

一方、「有線放送電話」は、町の広報活動と、非常災害時等に於ける通報連絡、その他町民相互の連絡を密に、町民の福祉増進を図ることをねらいとしています。

「広報ながはま」に関する調査 (1) 問1 広報紙「広報ながはま」を読んでいるか。

人事異動

【沖浦保育所】 保母 西岡 房子喜多難保育所 臨時保母 石本美代子(新)

特別会計は 七千九百万円

国民健康保険特別会計

目立つ保険給付費

最近の受診率の増加と、昭和三十八年十月からの世帯主七割給付によって、国保会計の運営が苦しくなってきた。

水道特別会計 給水戸数二千二百に達す 昭和三十七年度から着手してきた水道工事は、約一億五千万円を投じて、昭和三十九年度末に完成し、給水戸数は二千二百戸に達し、渇水期においても、完全給水ができるようになった。

1. 国民健康保険特別会計 予算額 5,030万円

歳入

Table with 2 columns: Category (国庫支出金, 保険税) and Value (2,800万円, 2,000万円)

歳出

Table with 2 columns: Category (保険給付費, その他) and Value (4,300万円, 730万円)

2. 上水道事業特別会計 予算額 1,690万円

歳入

Table with 2 columns: Category (使用料手数料, その他) and Value (1,250万円, 440万円)

歳出

Table with 2 columns: Category (運営費, 公債費) and Value (800万円, 890万円)

- 3. 青島航路特別会計 予算額 440万円
4. 港湾特別会計 予算額 370万円
5. 農業基盤整備機械特別会計 予算額 250万円
6. 国民健康保険直営診療所特別会計 予算額 150万円

問4 広報紙「広報ながはま」を保存していますか。 四六%

【住民課】 保母 谷川 俊子(長浜保育所) 井上 典子(出海) 大塚 隆子(大和) 臨時保母 新江 五月(新)

ごみなど勝手に捨てない

環境衛生推進協議会で決まる

長浜町環境衛生推進協議会では先般、協議会を開き、明るく住みよい町にするため、ごみの捨て方を決めました。

各地区的組織の力を、合わせておたがいの環境改善につとめてください。

年金がもらえなくなる 忘れると大変

大事な「所得状況届」

(一) 古い車によるごみ処理
旧長浜町内のごみ処理は、ごみ車により収集処理することになつていますが、まだ未加入の世帯があり、全世帯が加入してもらい港内、長浜大橋の上や、堤防の上から勝手に、ごみを捨てないようにすること。

老令・母子・障害福祉年金などの五期分支払時期がまじりまじりした。支払開始は、五月六日からです。

地方商店のあり方

(1)

経営のあり方に標識はない

長浜町商工会では、去る三月一日、体育館で、京都府商工研究所長水野鉄蔵氏を迎えて、「この町の景気展望と、地方商店のありかた」という講演会を開きました。

はじめで、商工業者約百名が熱心に受講してました。

術である。

水野鉄蔵氏の講演から

もう波乗りはできない

波乗りと同じだ。この波に板を乗せていると、岸まで、すうつと波が寄せてくれた。

波乗りと同じだ。この波に板を乗せていると、岸まで、すうつと波が寄せてくれた。



- (1) 去年あたりから、小さな中小企業はつぶれてきた。中小企業の倒産は戦後最高だ。
- (2) 昭和二十年代は、日本経済の復興の期間であった。
- (3) 昭和三十年時代は、日本経済の高度成長といわれた時代だ。
- (4) 戦後二十年間は、インフレ時代であった。インフレは、

- (5) これからの昭和四十年時代は今までの昭和二十年時代と違う。板を取られてしまったのだ。板を取られたのだから、泳げる人のみが岸に到着できる。
- (6) 今までのように、波にまかせておくと波に巻きこまれる。
- (7) これからは、じょうずに泳ぎける人のみが、これから伸びて行くことができる。

- (1) 不況というものは、たちなおりにくい。品物がたまって、買う客が減ってきて、売れないから不景気になるのだ。
- (2) これからは、経済成長下の不況だ。利益なき繁栄を続けなければならぬような構造になつてきた。
- (3) 大手筋が押さえてしまつて、小さいものは、割りこむことがなくなった。中小企業は、パラリンピックなみに大手に扱われるようになった。
- (4) 車に乗っている場合は危いと思つたら、ハンドルをきりかえれば、安全運転ができるが商店経営のあり方には、標識はない。どこで、どう、ハンドルをきりかえてよいかわからない。
- (5) 経営に対して色盲であつてはならない。
- (6) 経営とは、変動に対応する技術である。
- (7) くもが巣を張つて、とんぼやせみが、ひつかかってくるのを待つていられるが、店においても同じことがいえる。「きようあたり客がくるだろう」というような考えで、商売をしていたのではだめである。
- (8) 商人は、自分のことしか考へないが、こういふのは、だめであり、もうこれからは、だめであり、組織をつくつて、客のニーズに合うようにしてはならない。

ありがとうございます

年月日	寄付物件	寄付者	目的
39.12.1	校旗	長浜町衛生園芸組合 渡辺仁之助	衛生小学校の備品として
40.1.10	講堂用障子及び附属品一切	長浜町衛生小学校PTA 会長 増田 龜師	"
40.2.4	田26平方メートル雑地7平方メートル	衛生 下坂正千代	衛生港高松地区側で、簡易水道用地として、青島保育所運動用具として
40.2.8	ミカサボール(NI) 三個	青島 紙本徳之助	青島保育所の備品として
40.2.10	電気オルガン一台	長浜保育所の母の会 会長 照子	"
"	自転車(男女兼用富士エース実用車)	"	"
"	一金 5,000円	高松市橋上町630 清水 颯	体育館、神前結婚用品として
40.3.1	スチール製折たたみ椅子 40脚 (30,000円)	長浜町白滝小学校PTA 会長 清水 猛 子供共組組合 代表 城戸洋一郎	学校図書館用として

告知板

高友友 ▽副係長 兵頭 求

主事業務計画
五月ハイクング(鹿島)、料理講習会、七月スポーツ祭(白中)、八月キャンピング(山口県)料理講習会、九月県議会傍聴、十月ソフトボール大会(長高)、十一月O・Bとの話し合い、十二月女子研修・料理講習会、一月演劇発表会、二月研修旅行(小豆島)

百万円までの貯金には税金がかからない
昭和三十八年四月一日から実施されている、「少額貯蓄非課税制度」によつて、銀行など金融機関に対する預貯金の利息は、元本五十万円まで税金がかからないことになつていますが、四月一日から、元本百万円までに対する利息には、税金がかかることになりました。

学校の卒業生
町内の各中学校では、去る三月十七日に卒業式を行いました。この卒業式に、各中学校の卒業生が卒業記念に、それぞれつぎの記念品を贈りました。
長浜中学校ハミリの写真機(約六万円) 青島中学校ステーション用幕 衛生中学校ステーション用幕(約一万五千円) 出海中学校校庭に大きな池 大和才二中学校に大きな池

編集室

本広報紙は、昭和三十年一月十日に創刊号を発行してから、今月号で百号に達しました。

創刊号から百号に達する間には町内のみならず、あまたたいご指導とごべんたつをいただいた本号に達することができましたことを感謝している次第です。今後、より一層内容を充実してまいりたいと思つたので、今後とも、どうぞよろしく、ご協力ご支援をお願いいたします。

百号を記念して、昭和三十年一月十日発行の創刊号から、百号までを揃えてお持ちの方に記念品をお贈りすることにいたしましたので、五月十日までに、文書課広報係まで(創刊号から百号までをとして)お届けください。

なお、記念品は、六月一日頃、本人宛お送りします。

寒い季節が終り、五月からは思いきつて体を鍛える絶好季となります。

「目に青葉山ほととぎすはつがづを」
どなたもご存知の俳句です。日本の五月を端的に表現した句ですが、その言葉が特に美しいのは五月です。それに、緑色は、成長、健康、理想、青春、永遠、平和という感性を現わします。

告知板

そこで、百万円の「非課税貯蓄申し込み書」を、あらためて、提出しなおさなければなりません。

NHKが青島へテレビを寄贈
NHKでは、青島へ、テレビを普及することになりました。これは、NHKが、テレビの普及率の低い地区の方々に、少しでもテレビをみていただくため、生活の面にプラスにしたいという思いから、NHKから青島へ三台のテレビを寄贈し、各家庭へ順々に回して、視聴させるほか、電料料がふえるため、発電用の油代として、今後二カ年間、毎年十五万円をNHKが補助することに決まりました。

ことしの動運のスローガン
五月五日の子どもの日から一週間は、児童福祉週間です。ことしの動運のスローガンは、
(1) 母と子の栄養を高めよう
(2) 子どもの事故をなくしよう
(3) 明るい家庭、明るい環境をつくりましょう